



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月12日

上場会社名 三光産業株式会社  
コード番号 7922 URL <https://www.sankosangyo.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長  
四半期報告書提出予定日 2022年8月12日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3403-8134

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,375	6.8	14		191		199	604.0
2022年3月期第1四半期	2,224	8.9	9		1		28	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 230百万円 (274.1%) 2022年3月期第1四半期 61百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	32.23	
2022年3月期第1四半期	4.57	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	11,323	7,904	69.8
2022年3月期	11,843	7,717	65.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 7,904百万円 2022年3月期 7,717百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		7.00	7.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,731	1.4	55	47.9	62	46.8	60	67.1	9.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	7,378,800 株	2022年3月期	7,378,800 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,185,873 株	2022年3月期	1,185,873 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	6,192,935 株	2022年3月期1Q	6,192,935 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年6月30日）における我が国経済は、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響により社会・経済活動が甚大な影響を受けるとともに、ウクライナ情勢の長期化やインフレの加速により、景気動向については不安定な状況が続いております。

印刷業界においては、日本国内において印刷需要が減少する中、受注競争による単価の下落、サプライチェーンの混乱、また海外においても現地企業との受注競争の激化等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、新型コロナウイルス感染症の収束長期化に加え、世界的な半導体不足及び原材料高騰等により業績の見通しが立たない中、売上の拡大と新基幹システム構築による効率化の推進により収益の改善に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,375百万円（前年同期比106.8%）と増収となりました。

利益面につきましては、売上原価、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、営業損失は14百万円（前年同期は9百万円の営業利益）となりました。また、受取配当金及び為替差益の計上により経常利益は191百万円（前年同期は1百万円の経常損失）となり、固定資産売却益を6百万円及び固定資産処分損を4百万円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は199百万円（前年同期は28百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 日本

パネル関連製品の幅広い営業展開と、シール・ラベル製品の受注確保のため、既存取引先の深耕のほか日用品関連等の新規分野への営業展開を積極的に行い、製造面については、歩留率の改善等による効率化を重点的に進めてまいりました。

主として電気機器関連のラベル・ステッカー関連製品が増収となったことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,814百万円（前年同期比104.7%）となりました。また、利益面については、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、セグメント損失は40百万円（前年同期は、10百万円のセグメント損失）となりました。

日本セグメントに所属する連結子会社は、株式会社トムズ・クリエイティブであります。

#### ② 中国

中国セグメントにつきましては、連結子会社燦光電子（深圳）有限公司について、2019年8月に製造工場を閉鎖し、販売会社として国内の営業部門及び生産提携先との連携を強化し、中国市場における業績の安定化を目指して積極的な営業展開を継続いたしました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は380百万円（前年同期比165.6%）となり、セグメント利益は17百万円（前年同期は24百万円のセグメント利益）となりました。

なお、中国セグメントに所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子（深圳）有限公司であります。

#### ③ アセアン

アセアンセグメントに所属する連結子会社サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD.、サンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. 及びサンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD. につきましては、日本国内外からの営業面・製造面の支援を受け、積極的な営業活動及び製造工程の改善等を図っております。

しかしながら、2021年12月にマレーシアにて発生しました洪水被害及び新型コロナウイルス感染症の収束長期化による活動制限の影響を大きく受け、電気機器関連のシール・ラベル分野において受注減となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は179百万円（前年同期比69.0%）となりました。利益面においては、製造原価、販売費及び一般管理費の削減により、セグメント利益は25百万円（前年同期は7百万円のセグメント利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は11,323百万円となり、前連結会計年度末比519百万円減少いたしました。これは、主に受取手形、売掛金及び契約資産が789百万円、商品及び製品が209百万円、のれんが173百万円増加いたしました。現金及び預金が1,095百万円、その他流動資産が584百万円減少したことによるものであります。

負債総額は3,419百万円となり、前連結会計年度末比706百万円減少いたしました。これは、主に長期借入金が60百万円増加いたしました。短期借入金が697百万円、支払手形及び買掛金が53百万円、賞与引当金が40百万円減少したことによるものであります。

また、純資産総額は7,904百万円となり、前連結会計年度末比186百万円増加いたしました。これは、主に配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益199百万円を計上したこと及び為替換算調整勘定が69百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は69.8%（前連結会計年度末は65.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、当社グループを取り巻く景況感は概ね想定範囲内であることから、現時点では2022年5月16日に公表しました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,949,726	1,854,697
受取手形、売掛金及び契約資産	2,484,869	3,274,537
電子記録債権	906,523	882,483
商品及び製品	703,493	913,161
仕掛品	44,673	53,621
原材料及び貯蔵品	171,933	184,700
その他	921,616	337,438
貸倒引当金	△668	△543
流動資産合計	8,182,167	7,500,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,657,660	2,685,355
減価償却累計額	△1,846,366	△1,871,033
建物及び構築物（純額）	811,293	814,322
機械装置及び運搬具	2,313,472	2,355,394
減価償却累計額	△2,015,838	△2,035,757
機械装置及び運搬具（純額）	297,633	319,637
工具、器具及び備品	230,285	221,821
減価償却累計額	△196,044	△178,176
工具、器具及び備品（純額）	34,240	43,645
土地	1,281,015	1,283,875
リース資産	58,298	58,167
減価償却累計額	△47,490	△48,696
リース資産（純額）	10,807	9,470
有形固定資産合計	2,434,990	2,470,951
無形固定資産		
のれん	-	173,224
ソフトウェア	179,684	171,009
ソフトウェア仮勘定	2,700	-
無形固定資産合計	182,384	344,234
投資その他の資産		
その他	1,067,641	1,032,126
貸倒引当金	△24,016	△24,012
投資その他の資産合計	1,043,624	1,008,114
固定資産合計	3,661,000	3,823,300
資産合計	11,843,168	11,323,395

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,521,454	1,467,652
電子記録債務	760,646	779,131
短期借入金	932,774	235,228
未払法人税等	44,650	13,955
賞与引当金	92,325	51,734
災害損失引当金	96,569	83,620
その他	181,009	256,111
流動負債合計	3,629,429	2,887,434
固定負債		
長期借入金	300,000	360,535
退職給付に係る負債	120,076	116,830
繰延税金負債	58,416	37,704
その他	17,956	16,654
固定負債合計	496,449	531,724
負債合計	4,125,879	3,419,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,277,951	2,277,951
利益剰余金	4,323,858	4,480,115
自己株式	△1,013,873	△1,013,873
株主資本合計	7,438,687	7,594,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	445,385	406,463
為替換算調整勘定	△166,783	△97,170
その他の包括利益累計額合計	278,601	309,292
純資産合計	7,717,288	7,904,236
負債純資産合計	11,843,168	11,323,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,224,211	2,375,208
売上原価	1,774,173	1,932,152
売上総利益	450,037	443,055
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	194,758	190,638
賞与引当金繰入額	31,465	28,492
退職給付費用	16,677	12,264
福利厚生費	37,110	38,520
その他	160,187	188,108
販売費及び一般管理費合計	440,199	458,022
営業利益又は営業損失(△)	9,838	△14,967
営業外収益		
受取利息	328	869
受取配当金	13,013	15,072
貸倒引当金戻入額	9	128
為替差益	-	190,776
その他	1,735	2,981
営業外収益合計	15,087	209,828
営業外費用		
支払利息	7,744	3,060
為替差損	19,027	-
その他	8	98
営業外費用合計	26,781	3,158
経常利益又は経常損失(△)	△1,855	191,702
特別利益		
固定資産売却益	32,526	6,435
特別利益合計	32,526	6,435
特別損失		
固定資産処分損	0	4,086
特別損失合計	0	4,086
税金等調整前四半期純利益	30,670	194,051
法人税、住民税及び事業税	2,076	5,401
法人税等調整額	239	△10,957
法人税等合計	2,316	△5,555
四半期純利益	28,353	199,607
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,353	199,607



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	28,353	199,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,720	△38,922
為替換算調整勘定	65,920	69,612
その他の包括利益合計	33,200	30,690
四半期包括利益	61,554	230,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,554	230,298

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間より、株式会社アクシストラスの全株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

前連結会計年度より、従来「販売費及び一般管理費」、「営業外収益」及び「営業外費用」に計上しておりました不動産関連の収入及び費用を、「売上高」及び「売上原価」に計上する方法に変更しております。

これは、当社グループの賃貸収入は収入源の一つであり、事業運営の実態をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っており、「営業外収益」の「受取賃貸料」4,094千円及び「その他」26千円は「売上高」に、「販売費及び一般管理費」の「その他」864千円及び「営業外費用」の「賃貸建物減価償却費」136千円は「売上原価」に組替えております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,734,200	229,969	260,041	2,224,211
セグメント間の内部売上高 又は振替高	392,117	314,933	5,075	712,126
計	2,126,317	544,903	265,116	2,936,337
セグメント利益又は損失(△)	△10,970	24,924	7,833	21,787

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	21,787
セグメント間取引消去	△11,949
四半期連結損益計算書の営業利益	9,838

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,814,918	380,814	179,475	2,375,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	426,202	286,967	1,345	714,516
計	2,241,120	667,781	180,821	3,089,724
セグメント利益又は損失（△）	△40,942	17,513	25,184	1,756

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,756
セグメント間取引消去	△16,723
四半期連結損益計算書の営業損失	△14,967

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」セグメントにおいて、「株式会社アクシストラス」の全株式を取得したことにより、当第1四半期連結累計期間に発生したのれんの額は173,224千円であります。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

表示方法の変更に記載のとおり、前連結会計年度より表示方法の変更を行っております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の数値を用いて作成したものを記載しております。